議員の使命では

ociety&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU

きてきた。その林業へ

森づくり一筋に生

の思いは強く、「21世

つ政策を国は進めるべ としてしっかり成り立 通じて林業の大切さを 時代。あらゆる機会を 紀は環境の時代、 的課題になる中、 きと確信する」と訴え 伝えていきたい。一方 消防団員不足が社会 日本の林業が産業 心の

で橋本弘山市長から伝

た。12日、羽村市役所

手、三田りょうさん(テ ホストタウン交流に多 相から感謝状が贈られ して丸川珠代五輪担当 市とキルギス共和国の パラリンピックで羽村 イチク)に、東京五輪・ 大な貢献を果たしたと ホストタウン交流に多大な貢献 あきる野市在住の歌

三田さん 丸川五輪 担当相から感謝状



感謝状を手にした三田さん(中央)と 橋本市長(右隣り)ら市関係者

きた。同国での知名度 共和国をテーマにした 共和国独立記念コンサ 入統領らも出席する同 風の旅人」を歌い、 トに2013年から 18年に羽村

10月31日には羽村市からも感謝状を受けた。三田さんは「両国の多くの皆さんと一緒に交流の歴史を刻むことができ本当によかった。感謝状は身に余るた。感謝状は身に余る

望」をこのほど出版し 摩の未来と石田家の希 恕Ⅲ卒寿の伝言 光正さん (90) が、「忠

おける消防団の存在の ど奥多摩の未来のため 大きさ、議員の使命な に伝えておきたいこと などを綴っている。 石田さんは山づく

に直談判したこともあ

氏との出会いや政治の 元大蔵大臣武村正義

100人が寄稿

うそうたる人たちが寄

鬼恕Ⅲ卒寿の伝言

達された。感謝状は9

28日に全国の268

自治体と238の

三田さんはキルギス

躍した。

個人に贈られた。

奥多摩町氷川の石田 **쑤寿の伝言を本に** た。林業再生、地域に

さんは34年間消防団活 求め、鈴木俊一都知事 動に打ち込み、10年間 員の待遇改善を行政に 団長を務めた。消防団

の考えを披露してい ていくことが大切」と 観光の場として整備し

人が寄稿した「忠恕 田さんらしく、

林業再生、議員の使命など

奥多摩町氷川の石田光正さん



奥多摩町への思いを込めた一冊

る。奥多摩と小菅、丹 選に立った思いを回 波山、檜原の4町村が るかに考えが及んでい 想。「私は現在、 まうと痛感して立候補 ちに託す町は滅びてし **活性化をいかに早く図** 土要産業である観光の 口併 し広大な緑を有す た」と3年前に町議 未来ある子どもた 町の

増すとともに、首都圏 供給地として存在感を る自治体として首都圏 清涼な空気の の指針とし、 語っているほか、人生 村一郎都議の思い出を 孔子の思想などの紹介 トル「忠恕」を教える 国土庁長官との縁、 本のタイ

生を拓く」「人生一期 会」を信念にする **一人との出会いは人**

寄せ、「清風故人」の 夫元航空総隊司令官元 産業大臣)、井上信治 大蔵大臣、 編で掲載。武村正義元 で今回も50人が原稿を **元八王子市長、大串康** 元環境大臣、黒須隆一 元文科大臣(現在経済 兀国務大臣、 藤渡辰信拓殖大 萩生田光一 中川雅治

い合わせは09 に配布している。 岡村まで。

出版後日

師とも言える小澤潔元 した「忠恕Ⅱ」に次い

から町議を4期務め、 会長などとしても活躍 京日韓親善協会連合会 同町防衛協会長や西東

本は無償で希望者 問

業後、 高校を ている。 業の林業 などを記し りや人物像 石田さん

を継いだ。 1987年

んとの関わ 石田さ 奥多摩の未来と石田 家の希望」を発刊した 後、木村信三翁のこと を写真掲載だけでな く、その人となりを紹 介しておけばよかった と残念に思っていま す。木村翁は次代を担 う青少年の健全育成を 目的に夏休みには自宅 でラジオ体操の指導を 行い、体育、知育、徳 育に私財を惜しまず力 を注いでくれました。 私の人間形成に大きな 影響を受けた大恩人だ と思っています。木村 翁は消防団長、村長、 府会議員などを務め、 氷川村発展に多大な貢 献をした大先達者で、 忠恕そのものの人で す。財団法人日本消防 す。財団法人日本消防

(石田光正氏談) 市とキルギス共和国と の友好親善ボランティ ア大使に就任。ホスト 職人技のネットワークで 快適な生活空間を造ります 総合建設業 東京都知事許可 第77829 〒198-0014 青梅市大門 2-360

☎0428-31-1432 fax0428-31-5731

